【議事録要旨】第 2 回 豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会

1. 会議概要

- **日時**：2026 年 10 月 2 日（金） 13:30〜16:30
- **場所**：豊岡市役所 3 階 庁議室
- **出席者**：（敬称略）
  - **委員長**：髙橋正透（豊岡市人権教育推進協議会 豊岡支部長）
  - **副委員長**：瀧下真理子（イーブンネットたじま）
  - **検討委員**：赤松まり子、井垣真紀、石高真二、岸田尚子、久木田里奈、佐藤令奈、高栁光昭、西村勲、平峰英子、廣井由美、姚瑶、谷垣茂彦
  - **庁内委員**：大谷祥悟、福田一成、岡本優嗣、木内純子、小操加奈子、山田晃子、中田啓之、伊藤八千代、谷垣茂彦
  - **アドバイザー**：大崎麻子（ジェンダー平等推進）、田村太郎（多文化共生推進）
  - **事務局（ジェンダーギャップ対策課等）**：太田垣くらし創造部長、原田多様性推進ジェンダーギャップ対策課長、道下、稲田、大森
- **欠席者**：（検討委員）大槻恭子、三浦健太（庁内委員）西澤紗織、太田垣輝尚、羽尻エミ、伊﨑宏典、三輪純子

2. 議事経過と主要内容

(1) 開会・委員長挨拶

- **事務局開会案内（道下）**：

  会議録用の写真撮影・音声録音および広報誌・HP 掲載可能性について確認。出席状況に伴い、本日のワークショップは 5 グループ編成で進行する旨案内。

- **髙橋正透 委員長挨拶**：

  学校教育現場で自身の経験（東日本大震災時に市内の児童が米を送った取り組みや運動会での創作ダンス等）を引き合いに、「教える側がどのような人に育ってほしいかという願いを抱き、365 日向き合い続けることが教育の原点だ」と強調。本検討委員会においても「答えを急ぐのではなく、様々な立場からの思いを出し合い、徐々に理解を深めながらひとつの形に創り上げていきたい」とあいさつ。

(2) 第 1 回委員会の振り返り（第 5 次男女共同参画プラン 素案①）

事務局より、第 1 回（7 月 28 日）で提出された付箋や意見を集約・体系化した「第 5 次豊岡市男女共同参画プラン（素案①）」についての説明。

- **第 1 回意見の主要論点：**
    1. **数値目標から Well-being へのシフト：**人口比率等だけでなく、誰もが自分らしく暮らしキャリアを諦めない納得感・満足度を重視。
    2. **多様性を包摂する地域風土：**都市部のノウハウを活かせる柔軟な雇用や、外国人・障害者等を摩擦なく迎える基盤。
    3. **現場におけるジェンダー主流化：**高齢男性の孤立防止、男性の育児参画、女性のヘルスケア、意志決定層（町内会・PTA・企業）への多様な視点反映。
- **3 大アクションプラン（仮称）：**
    1. **豊岡キャリア＆リスキリング・プラットフォームの構築：**U ターン・移住者や出産・育児期女性のキャリア中断を防ぐ一体的インフラ。
    2. **プレコンセプションケアと包括的ヘルスケア教育の全域展開：**10 代から SRHR（性と生殖に関する健康と権利）の理解を深める体制。
    3. **地域・職場におけるジェンダー主流化の推進：**意思決定層への参画拡大に加え、働きやすさ・ハラスメント防止に取り組む企業への認証制度（あんしんカンパニー表彰等）の充実。
- **基本理念（仮置）：**

  ちがいを認め合い、誰もが自分らしくかがやく豊岡

(3) 情報提供・講話（田村太郎 アドバイザー）

テーマ：『男女共同参画・ジェンダー平等と多文化共生』

- **多文化・外国人女性の多層的課題：**
    - 言語・習慣の相違（分娩方法に関する考え方や「コインで身体をさする」といった民間療法等への誤認など）、在留資格の従属関係から生じる DV やハラスメント。
    - プレコンセプションケアや婦人科検診の機会喪失、イスラム教徒における男性医師・救急隊員の忌避など、性別と外国籍が重なる複合的な問題の存在。
- **地域インフラの課題：**

- こどもに通訳を頼むこと（教育機会奪取・児童虐待リスク）や会社関係者による通訳（労災隠しリスク）、移動手段（運転免許取得が困難）のハードルや相談機関へアクセスの脆弱さも課題。
- 山陰や被災地（能登・福島等）での外国人女性比率の高さや地域社会における外国人依存度の高まり。

- **多文化共生と地域成長：**
  - 若年層で顕在化している外国人女性の「望まない妊娠」や、地域での孤立に対する早期アセスメントの必要性。
  - 「ちがいがあるからこそエネルギーとイノベーションが生まれる」。多様な当事者が意見を言える「寛容な地域風土」こそ、持続可能な地域発展と倫理・社会的課題の克服へ。

(4) ワークショップ①：「包括的性教育」のサブタイトル（副題）検討

趣旨：（大崎麻子アドバイザー説明）包括的性教育を「自分と相手の心と体を大切にし、境界線（バウンダリー）や同意を尊重する生き方・人間関係の教育」として、市民に広めるための、豊岡市ならではのサブタイトルと伝えたいメッセージについての議論を。

グループ	提案サブタイトル	こども・若者に伝えたいメッセージ	大人が学んでみたいテーマ
A 班	**あなたと私のキョリ（バウンダリー）**	自分も自分以外の人も大切にしてほしい	異文化の常識や最新の性教育・多様性情報のアップデート
B 班	**心と体のコミュニケーション**	どの世代も同じ目線に立ち、相手を尊重して行動する	大人の固定観念を捨て、ゼロから対等な目線で学び直す
D 班	**からだと心とのつながりを含む、新しい学び**	自分も相手も大切な存在。適切な距離感と対話技法	生きやすくするためのコミュニケーションと人間関係の再構築
E 班	**人生を考えるための成長**	信頼関係と尊厳の上に立つ人間関係	こどもの頃に返って素直に学び直す性教育

グループ	提案サブタイトル	こども・若者に伝えたいメッセージ	大人が学んでみたいテーマ
C 班	**自分らしく生きるための学び**	自分らしく生きる権利と相手の尊重	親としてこどもにどう語りかけるか等の生涯学習

(5) ワークショップ②：成長分野へのジェンダー主流化の検討

趣旨：（大崎麻子アドバイザー説明）豊岡市の成長分野における従来の性別役割分担や固定観念を見直し、特に女性の参画と活躍を促進することで、どのような新しい市場・可能性・価値が生まれるかなどの議論を。

- **グループ D［グリーン～農業・環境・循環経済～］**
  - **旧来の当たり前**：農業＝「男性による肉体労働」の固定観念、意思決定層の男性偏重。
  - **新しい可能性**：女性事業主による法人化推進。6 次産業化（加工品開発）へ女性目線やデザイン思考（芸術文化との連携）を導入。
  - **行政・地域の役割**：経営・ブランニング・財務支援。農繁期に応じた観光業と農業のワークシェアリング（夏は農業、冬は観光等）の構築。
- **グループ A＆B 合同［観光・交流］**
  - **旧来の当たり前**：観光協会の役員が男性ばかり。役割分担の固定化（男性＝意思決定・運転、女性＝配膳・接客）。無償ボランティア中心で女性が参画しづらい。
  - **新しい可能性**：役員に女性・若者・外国人等を登用し、多角的な視点による多様な誘客ターゲット設定。
  - **行政・地域の役割**：ボランティア依存を脱し、正当な対価（サラリー）が支払われる正規の仕事として参画できる仕組みを行政が支援・投資する。
- **グループ E［健康・ケア・ウェルビーイング・子育て］**
  - **旧来の当たり前**：ケア労働・PTA・健診同行等を「女性が担うのが当たり前」とする風潮。
  - **新しい可能性**：男性の家事・育児・介護参画により、職場全体で休暇を取りやすい雰囲気を醸成。女性の就労継続とケア人材不足の緩和。
  - **行政・地域の役割**：ケア労働の社会的価値向上・賃金引上げ（国への働きかけ）。企業向け「介護・子育てに優しい企業認証」や自治会・老人クラブでの女性役員登用。
- **グループ C［芸術文化・クリエイティブ］**

- **旧来の当たり前**：「演劇のまち」の取り組みがイベントにとどまり、教育や企業の日常に十分浸透していない。
- **新しい可能性**：演劇ワークショップ（他者理解・コミュニケーション向上）を地元企業や金融機関の社員研修・人材育成プログラムとしてビジネス化。
- **行政・地域の役割**：芸術文化専門職大学等と地域企業をつなぐハブ機能を強化し、多様性理解を企業の経営力強化に直結させる。

(6) アドバイザー講評・閉会

- **田村太郎 アドバイザー**：

  ちがいがないところにエネルギーは生まれない。ダイバーシティは地域の動力エネルギー。多様性を受け入れ、「寛容な地域風土」をつくること。AI 等の技術革新においても倫理的・法的・社会的課題（ELSI）の視点で検証することが求められているが、多様な人の視点があれば新たなサービスや商品の開発が可能となり、それが産業の持続的成長を支える。

- **大崎麻子 アドバイザー**：

  各グループで、従来の前提にとらわれない具体的なストーリーが描かれたことを高く評価。雲をつかむような議論だったかもしれないが、現実的なアイデアも生まれた。市役所事務局とともに、第 5 次プランへ確実に反映させていきたい。

- **髙橋正透 委員長総括**：

  人権教育推進協議会での標語募集から「心に残るエピソード募集」への見直し（399 件の応募）に触れ、人と人との温かい繋がりを大切にしながら次回検討会へ臨みたい。

3. 次回日程

- **第 3 回 検討委員会**：2026 年 11 月 9 日（月） 13:30〜16:30
- **場所**：豊岡市役所 2 階 大会議室